

## 一年生分科会

参加人数 四十七名

まとめ 小川 慶子

### ○一年生の授業づくり

〈音読・ノート・読解指導〉

石川 満

目標達成法で集団づくり。班長会とめあての作成をつなげ、目標クリア5回で席替え&お楽しみ会とシステム化して、集団自治力が高まった。朝の会後の読み聞かせをほぼ毎日続け、年間160冊読破。漢字指導は宿題プリント・漢字発表・小テストの三位一体。音読はルールを徹底。ノートは、子どもと同じ形式のます目黒板を使い、同じように書かせ、振り返りとして、わかったこと思ったことを書く。こうした積み重ねの上に、授業づくりがあり、同じパターンで繰り返しうちに、いつの間にか意見が書けるようになった。

### ○つなげて 伸ばす 日記指導

堀井 克也

書く力を伸ばすための日記を宿題に。ポイントは、読み手意識。事前に読み合いを告知し、教師による事前チェック、よいところを見つけておくことを意識させ読み合いへ。

## 二年生分科会

参加者 三十六名

まとめ 図書 啓展

### ○みんなでなかよく、みんなでかしく

井川有香子

二年生の担任は、一年後の子どもたちの姿を思い描いて、ぶれずに見通しを持って進むボスざるでありたい。漢字相撲・学期ごと十日連続で小テストをする。前日にテスト範囲の書きのノート練習とテストのコピーを渡す。暗誦・リズム漢字・格言カルタ。学級チャレンジ:「宿題忘れなし」「給食完食」の連続記録を更新していく。子どもの頑張りを見せ玉を増やすなどで見える形にする。

一日一回は係でクラスのために仕事をする。会社活動でクラスを楽しくする。ノートの参観日を作ってお互いがんばりをほめ合う。注意するときは、「それを続けるかどうか」をしつかり伝える。真意が伝わるよう真剣に。場所・タイミング・立ち位置も考えて。

### ○計算力は学力の牽引車

図書 啓展

計算力を心地よくきたえ自信と集中心力、学習の構えを育て、連帯する学級づくりにつなげる。102-57(波及的くり下がり)などタイトルで教え補助数字や口唱法で定着かけ算は一あたり量を押さえアレイ図で量感を。関所方式で教室の入口に九九を掲示し唱えさせる。

### ○音読・日記指導

中井 隆司

まず静かな教室で学ぶ。机や椅子の音、声の大きさに配慮する。教師のまねから。言葉遊び・まねっこ・早口繰り返しなどテンポよく。徐々に音読に移行。いつでも音読・どこでも音読。日記を書かせ、コメントをさつと書く。いいものを紹介。作文を書かせ段落や「など添削指導。書き直させる。作文ファイルで保存し、振り返り。